

地域課題① 将来を見据えた持続可能な組織づくり

★具体的取組の例

- 広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し
- 将来を見据えた会費のあり方の検討と、共同作業の見直し
- 近隣する単位自治組織との交流と協力体制の構築
- 新しい生活様式に対応し、SNSやオンライン化の導入の検討

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	20	38%
取り組まなかった	33	62%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・集落の現状を踏まえ持続可能な行事の在り方を精査・見直し・改善を行った（祭事の持ち方、講の休止、複数行事の同日開催等）。
- ・将来を見据えた集落会費の在り方の検討と共同作業の見直しを行った。
- ・貯蓄型集落会費とならないよう、事業支出に見合う年会費として減額を図った。
- ・単身高齢世帯の集落会費を減額した。
- ・高齢世帯の負担金（清掃活動不参加者が拠出する負担金）免除のきまりを見直した。
- ・防災訓練など、広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直しを行った。
- ・広域コミュニティのビジョン策定に参加した。
- ・役員間の連絡手段にLINEを使用し会議招集にかかる負担の軽減を図った。
- ・コロナ禍で減少した事業活動費を公民館修繕費に充当した。
- ・ゴミステーションの改修を実施した。
- ・転入してきた住民のコミュニティ参画を促すため、事業活動への積極的な参加を呼び掛けた。

地域課題② 多様な人材の活用と役員等の負担軽減

★具体的取組の例

- 役員負担軽減につながる効果的な組織体制の見直し
- 単位自治組織が抱える課題・将来像を共有する場づくり
- 女性や若者を登用し、幅広い年齢層が参加しやすい集落運営の仕組みづくり

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	17	32%
取り組まなかった	36	68%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・小中学校の賛助会費集金を集落会計から一括支出しPTA評議員の負担軽減を図った。
- ・役員4役を2年順送りするよう改め、組織の硬直化防止・活性化を図った。
- ・若者の役員登用に務め、組織の若返りを進めている。
- ・住民全員が役員を経験できるよう自治会の編成方法を検討した。
- ・スムーズな役員改選の方法を検討した。

- ・役員ポストを減らし仕事も減らした。
- ・人材が少ないため、役員退任者も相談役として協力している。
- ・年間複数回行っている集落会費集金を年度一括払可として集金人の負担軽減を図った。

その他

- ・会社員等が多く特に区長・区長代理の負担が重い。任期の短縮を検討している。
- ・若年層の減少により一部役員任期を延長した。

地域課題③ 多世代が交流し、あいさつを交わし合える地域づくり

★具体的取組の例

- 地域の特性を活かした多世代参加・交流型事業の開催
- 若者が事業を通じて企画・運営の達成感や充実感を感じられる仕掛けづくり
- 笑顔であいさつを交わし気軽に話し合える雰囲気や場づくり
- 子どもが地域の大人とつながり、体験を通して地域の魅力を知ることによるふるさと大好きな子どもの育成

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	17	32%
取り組まなかった	36	68%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・毎月回覧版で集落内の話題や地域外の動きを周知し、集落自治への意見収集を行った。
- ・子供会による春と秋の資源回収、夏祭り神輿引きを通じ、地域住民の交流を図った。
- ・集落美化活動、花いっぱい運動など多世代であいさつを交わし合える場づくりに取り組んだ。
- ・花いっぱい運動により地域住民・観光客の心のうるおいづくりに寄与した。
- ・子供を中心にあいさつを励行、気軽に話し合える雰囲気づくりに努めた。
- ・子供会行事・祭事に集落役員も参加し交流を図った。
- ・広域コミュニティ主催行事や神社の催事に多くの住民が参加した。
- ・全年代が参加できるレクリエーション大会を企画した（コロナ禍で R4 は開催中止）。
- ・コロナ禍で計画した行事ができない中、清掃活動等の屋外行事を実施し住民交流の機会を設けた。
- ・公民館の改築を契機に交流が盛んになった。

その他

- ・小学校の統廃合後、地域との関わり方が変化し、また、子どもの数自体少ない。

地域課題④ お互いを見守り支え合う安全で安心な地域づくり

★具体的取組の例

- 自主防災組織の機能点検及び広域コミュニティ組織と連携した事業体制の構築
- 有事に備えた住民情報の把握と見守り・支え合い体制の仕組みづくり
- 他団体と連携した高齢者等交流・支援活動の実施
- 空き家情報の把握と市への情報提供

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	21	40%
取り組まなかった	32	60%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・ 集落内の防犯灯点検を実施。また、世帯名簿更新作業により単身者世帯、高齢者世帯の把握を行った。
- ・ 老朽化し危険な状態にあった神社鳥居を解体した。
- ・ 集落内道路の危険箇所の確認や公園遊具の点検、整備を行った。
- ・ 地域防災対応マニュアルを策定し、集落全戸に配布した。
- ・ 一人暮らし女性の対応担当者を選任し、安否確認等実施した。
- ・ 地域防災訓練において、集落全戸の安否確認を実施した。
- ・ 集落会費徴収時の声掛けや回覧板・広報配布時に高齢者宅等の見守り・支え合いを実施した。
- ・ 避難場所の確認をした。
- ・ 区長に集落内の情報が集まる仕組みを検討した。
- ・ 消防団員と連携し消火栓・消防資機材の取扱いを学ぶ訓練を行った。
- ・ 集落内の空き家の状況を把握し、市に情報提供して対策を検討した。
- ・ 日頃の近所付き合いや支え合いのなかで高齢者世帯の除雪を手伝っている。

その他

- ・ 防災アドバイザーを招き研修を実施したが参加が少なく、如何に意識高揚を図るかが課題である。

その他／ 地域で課題になっていることなど

- ・ 行政機関等から依頼される河川の草刈りについて、危険な場所が多く中止にしてもらいたい。
- ・ 今野川の洪水等氾濫対策（川底の雑木除却を要望）
- ・ 近い将来の役員なり手不足
- ・ 公民館の保険に入るかどうかで話がまとまらない。
- ・ 集落役員・消防団員のなり手不足による役員の固定化
- ・ 役員廻りに関する規約内容の見直し
- ・ 高齢化、少子化によりコミュニティが縮小しており、組織運営や様々な活動が難しくなっている。
- ・ 少子高齢化、人口減少、独居世帯、高齢者のみ世帯の増加、観光宿泊客の減少、除排雪対応、村社氏子等減少による社の維持、文化伝統行事の継承、空き家の増加
- ・ 管理不全空き家に対して、集落で何が出来るか模索している。
- ・ 倒壊空き家からの飛散物の撤去管理

その他／ 具体的に考えている事業や取組んでみたい事業など

- ・ 公民館広場にある遊具の撤去・整備
- ・ 集落設備（ゴミ集積所）の補修、公民館の建替え・改修の検討
- ・ 過去2年分の住民意見の集約化
- ・ コロナ禍で見合わせした事業の再開（夏祭り、花見、芋煮会等）
- ・ 地区防災計画の策定
- ・ 集落設備（消火ホース格納庫・ゴミ集積所）の更新整備

その他／ 地域コミュニティに関するご意見など

- ・ コロナ禍で住民が腰を据えて話し合える機会が皆無となり、住民同士の繋がりが希薄化しつつある。これが当たり前の状態とならぬよう意識的に交流機会を回復させる必要がある。

地域課題① 身近な地域の居場所づくり

★具体的取組の例

- 広域コミュニティ活動についての研修会や情報交換
- 広域コミュニティ活動の地域内外への発信
- 地域資源を活かしたコミュニティビジネスの取組に向けた検討
- 適正な受益者負担の検討

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	4	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・百歳体操（毎週）、女性セミナー（全12回）、男の料理教室、小学生料理教室、スマホ教室を開催
- ・誰でも参加出来るイベントを通じ、世代を超えた交流の場を提供した。
- ・女性向けの各種教室、小学生の夏休み勉強塾、親子教室を開催した。
- ・外部団体と連携し月1回サロンを開催。老若男女問わず世代を超えた親睦と交流の場を提供した。
- ・年間通じた居場所づくり、交流機会を設けた。新規参加者を取り込むことができた。

地域課題② 単位自治組織と連携した事業体制と新たな人材育成

★具体的取組の例

- 広域コミュニティ組織による単位自治組織への支援
- 地域の現状と目指すまちの姿を共有し、地区住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定
- 地域活動に参加する契機の創出
- 地域コミュニティに関わる団体・組織との交流
- 新たなリーダー輩出につながる、サブリーダーからの人材育成と達成感を感じる仕掛けづくり

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	4	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・集落区長協力のもと、地域通貨導入検討事業の実証実験を実施した（敬老祝品として配布）。
- ・地区住民の声を反映した地域ビジョンの進捗状況を報告し、今後の進め方について話し合いの場を持った。
- ・地域ビジョン策定に向けた研修会を開催した。地区の現状と課題、目指すまちの姿を共有し、次年度計画の準備や仕掛けづくりができた。
- ・小規模ながら地区住民の親睦を図る事業を展開できた。単位自治組織との協力体制を再構築した。

地域課題③ 郷土愛を育む学びの場と地域の魅力を発信できる仕組みづくり

★具体的取組の例

- 子どもたちの郷土愛を育む社会教育活動の実践
- 小学校等と連携した協働活動の推進
- 若者に魅力ある子育てしやすい環境づくり
- 地域外から人材を呼び込み、地域力の維持・強化と地域の魅力の再発見と発信
- 新しい生活様式に対応し、SNSやオンライン化の導入を検討

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	4	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・小学生対象の蛍観察会、羽黒山朝山登山、杉並木観察会を実施した。3月には「住まいのまちなみコンクール」受賞記念講演会を開催した。
- ・地区の魅力をを知るためのウォーキングを実施した。
- ・広報紙の他、SNSを使い地区や情報、コミュニティ活動の状況を発信した。
- ・小学校や外部団体と連携し、農作業を通じた世代間交流事業を開催した。
- ・地域ビジョン策定の取組を通じ、地域の魅力、後世に残すべきものを整理・確認することができた。

地域課題④ 自主防災組織と連携した防災の体制づくり

★具体的取組の例

- 情報伝達、情報収集方法の構築
- 単位自治組織の自主防災会への働きかけや支援
- 地域の実情に即した避難訓練や防災研修等の実施

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	3	75%
取り組まなかった	1	25%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・集落自主防災会、自治振興会地域安全部員、消防団が参加して地区防災訓練を実施した。
- ・地域内5ブロックに分け、毎年順番に防災訓練や研修会を実施した（R4は庁舎と共催。規模縮小とし、集落自主防災会代表者ら参加により実施）。
- ・関係機関と連携し、防災意識の高揚と地域の実情に即した防災訓練や講演会を実施した。

その他

- ・広域コミュニティとしての防災組織体制整備が遅れており、次年度取り組む予定である。

地域課題⑤ 安心して暮らし続けられるコミュニティづくり

★具体的取組の例

- 高齢者や要支援者の見守り支援体制の構築
- 各種団体や組織と連携した防犯体制の取組

- 不良空き家化の予防啓発
- 地域共生社会の実現に向けた「地域支え合いプラン」の推進

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	4	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・鳥獣被害対策研修会3回、実地研修2回を開催した。
- ・資源回収において、自己搬出が難しい高齢者を対象に訪問回収を実施した。
- ・警察署指導のもと、コロナ禍で起きている詐欺被害の実例と予防策の研修会を開催した。
- ・関係機関と連携し、通学路の危険箇所点検や防犯体制強化の取り組みを実施した。
- ・地域ビジョン策定の取り組みを通じ、地元環境の良さを再認識し、環境維持・改善へ取り組む機運が高まった。

その他／ 地域で課題になっていることなど

- ・雪害、鳥獣被害
- ・単身高齢者の増加に伴う隣近所同士での見回りと支援の必要性。空き家の増加への懸念
- ・少子高齢化に伴う子育て支援
- ・コロナ禍で希薄化した住民同士の関係性回復に向けた親睦・交流・連携を深める事業づくり
- ・広域コミュニティ活動に対する理解と賛同、参画を促す仕組みづくり

その他／ 具体的に考えている事業や取組んでみたい事業など

- ・学校統廃合で再編された学区運動会に代わる、地元（旧学校区）住民を対象とした体育イベント
- ・廃校施設（図書館）の利活用。地域通貨の導入
- ・人と人の繋がりを回復させるため、多世代が交流出来るイベントを開催したい。
- ・コロナ禍で中止した運動会・敬老会・文化祭等イベントを再開し、地域住民の一体感を取り戻したい。
- ・地域の現状と目指すまちの姿を共有し、住民の声を反映した地域ビジョン策定を目指す。
- ・広域コミュニティを単位とした防災組織の編成

その他／ 地域コミュニティに関するご意見など

- ・人のつながりが減っている現状を踏まえ、地域コミュニティについて問題意識を持って取り組んでいかなければならないと思われる。多世代の地区住民が気軽に集まれる機会を作るため、その拠点となる地域活動センターの再整備について検討していただきたい。
- ・地域ビジョンのアンケートから「地区に愛着があり暮らしやすい」との結果を得た。その思いが維持されていくために、自治組織としてどのような取り組みをしたらよいか、過去の取り組み見直しを含め、コミュニティ組織づくりを進めたい。